

## 沖縄県公安委員会定例会会議録（令和6年8月8日）

### 1 主な報告等

#### (1) 安全・安心なサイバー空間の実現に向けた取組について

委員から、県警察と損害保険会社との連携により、広くサイバー犯罪の被害状況を把握できる大変良い取組である。被害拡大防止のため、県民等への広報啓発に活用していただきたい旨の発言があった。

#### (2) 「児童虐待事例の法医学的な診かた」研修会の開催について

委員から、児童虐待事案を見逃し、潜在化させることがないように、今後も児童にかかわる行政機関や医療機関に対して研修会への参加を広く呼びかけ、児童虐待の早期把握と児童の安全確保に繋げていただきたい。また、この研修会を視聴覚教材として活用するなど、部門を問わず多くの警察職員が視聴できるよう検討していただきたい旨の発言があった。

#### (3) 令和6年上半期におけるSNS型投資・ロマンス詐欺の被害状況等について

委員から、この種の犯罪被害者は、自身に落ち度があるとして被害申告に至らなかったり、時間のかかることが多い。また、投資の仕組みが複雑で詐欺との区別が付きにくく、被害に遭っていることに気づかないなど、潜在化しやすい。他県警察の取組事例等も参考にして、今後も被害防止のための広報活動に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

#### (4) 外国語による学科試験等の実施拡大について

委員から、外国免許から日本免許への切替件数の多さに驚いた。今後もグローバル化や県内外の労働力人口の減少で、雇用外国人等の増加が見込まれることから、この試験制度の実施拡大について円滑な運用に努めていただきたい旨の発言があった。

#### (5) その他

警察本部から、先般、他県警察における一連の非違事案の原因が分析され、再発防止策が公表された。主な原因として、幹部職員を含めた職員の職責及び倫理感の欠如、個人情報的重要性とその取扱いに関する認識の欠如、適確な指揮統率と組織的対処が不十分であること等が指摘された。沖縄県警察としても、同じ警察組織として自らを律するとともに、組織外部からの貴重な意見を警察行政に反映させることが重要であることから、公安委員会には引き続きご意見、ご指導をいただきたい旨の発言があった。

委員から、警察改革から20年以上が経過した。警察改革の精神が職員に浸透しているのかを今一度点検していただきたい旨の発言があった。

### 2 公安委員長の互選等について

公安委員会から、８月１日付けで、嘉手苺英子氏が新たに沖縄県公安委員に就任した。次期公安委員長については、委員間の互選の結果、阿波連光委員が就任することとなった。委員長の任期は、令和６年８月９日から令和７年８月８日までの１年とする。また、委員長に事故等がある場合の委員長職務代理については、第１順位嘉手苺英子委員、第２順位當間秀史委員とし、委員長職務代理の任期は、委員長の任期と同じとする旨の報告があった。

### ３ 主な決裁等

#### (１) 警務部

- ・ 公安委員会あて苦情の調査結果について
- ・ 公安委員会あて苦情の受理について
- ・ 公安委員会あての意見・要望について
- ・ 令和６年第２回沖縄県議会（６月定例会）の結果について
- ・ 令和７年度新規事業・継続事業に係る箇所新規の概要について
- ・ 審査請求の受付について
- ・ 裁決書の事前説明について

#### (２) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について